

被保険者期間

保険料納付済期間

- ①国民年金保険料を実際に納めた期間
- ②厚生年金保険または共済組合の加入者であった期間（“20 歳以上 60 歳未満”の期間）
- ③いわゆるサラリーマンの妻（厚生年金保険または共済組合の加入者によって生計を維持されていた 20 歳以上 60 歳未満の配偶者）であった期間のうち昭和 61(1986)年 4 月以後の期間（第 3 号被保険者期間）

保険料免除期間

- ①国民年金保険料を全額免除された期間（法定免除、申請免除）
- ②国民年金保険料を 4 分の 3 免除された期間のうち、4 分の 1 の保険料を納めた期間
- ③国民年金保険料を半額免除された期間のうち、半額の保険料を納めた期間
- ④国民年金保険料を 4 分の 1 免除された期間のうち、4 分の 3 の保険料を納めた期間

合算対象期間

いわゆる「カラ期間」とよばれるもので、国民年金に任意加入できる人が任意加入しなかった期間などをいい、老齢基礎年金を受けるための受給資格の 25 年を見るときは計算に入られるが、年金額を計算するときには含まれない期間

代表的な合算対象期間

- ① 昭和 36 年 4 月から昭和 61 年 3 月までの間で配偶者が被用者年金（厚生年金・共済組合）に加入しており、任意加入でよかったため、何の年金にも加入していなかった期間
- ② 学生であって、昭和 36 年 4 月から平成 3 年 3 月までの間で、国民年金に任意加入しなかった期間。（20 歳から 60 歳までの期間に限る）
- ③ 昭和 36 年 4 月以降の 20 歳から 60 歳までの間で日本国籍を持つ人が海外に在住していた期間
- ④ 昭和 36 年 4 月以降の厚生年金の期間で脱退手当金を受けた期間や共済組合の退職一時金を受けた期間。（昭和 61 年 4 月以降に免除を含む保険料納付済期間を有する場合に限る）。
- ⑤ 昭和 36 年 4 月以前の厚生年金などの被保険者期間
- ⑥ 第 2 号被保険者の被保険者期間のうち、昭和 61 年 4 月 1 日以後の期間で、20 歳未満と 60 歳以上の期間